

# 氷見の「地域づくり協議会」

## 仏生寺地区が第1号

氷見市が市内21地区での設立を支援している「地域づくり協議会」の第1号となる仏生寺地区地域づくり協議会の設立総会が25日、仏生寺公民館で開かれ、市民による地域力向上に向けた取り組みの第一歩がスタートした。

同協議会は、第8次市総合計画(2012～21年度)で重点プロジェクトに位置付けられている「1町19ヶ村の地域力発揮・向上プロジェクト」の一環で市が設立を促している。自治

取り合い、子どもや高齢者の見守り、子育て支援、除雪対策など、地区が抱える課題解決や地域活性化に取り組む。

仏生寺地区の設立総会には約30人が出席。会長に屋敷宗一、同地区自治振興委員長を運び、昨年実施した住民アンケートの結果を参考に地域づくり計画を策定するなど本年度の事業計画を決めた。

屋敷会長は「会員の減少により青年団と婦人会が弱体化している。社会情勢の変化に対応し、住みやすい地区をつくる必要がある」とあいさつ。本川市長が「協働のまちづくりのモデルをつくってほしい」と祝辞を述べた。

市は本年度、既に準備会が立ち上がっている朝日丘、速川、久目の3地区でも設立を目指す。



出席者を前にあいさつする屋敷会長(仏生寺公民館)

振興委員会や社会福祉協議会、青年団、老人会、自主防災会などでつくる。各地区に2人ずつ配置された市の地域担当職員を介して行政と密接に連絡を